



代表取締役社長

西 垣 浩 司

はじめに

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、平成14年度中間期(平成14年4月1日から平成14年9月30日まで)の経営状況についてご報告するとともに、当社の経営戦略についてご説明申し上げます。

平成14年度中間期の経営環境

当中間期の世界経済を概観しますと、米国経済は、個人消費は堅調に推移したものの、企業のIT(情報技術)分野を中心とした設備投資が依然として低水準で推移したため、本格的な回復には至りませんでした。また、米国企業の不正会計疑惑に端を発した株価急落やイラクとの緊張関係の高まりなどが経済に悪影響を与え、景気が再失速する懸念がでてきました。欧州経済は全体としては回復傾向を示しましたが、極めて脆弱なものにとどまりました。一方、国内経済は、平成14年4-6月の国内総生産(GDP)が5四半期ぶりにプラス成長に転じたものの、依然として内需は力強さに欠け、また輸出も鈍化傾向がみられるなど厳しい状況が続きました。

国内のエレクトロニクス業界は、サッカーのワールドカップ開催による需要増などにより民生機器の生産が好調に推移した一方、パソコンや携帯電話機の生産は低迷するなど、分野によりばらつきがありました。全体では緩やかな回復傾向を示しました。こうした状況を受けて、半導体をはじめとする電子デバイス市場も回復基調をたどりましたが、夏場以降、国内外の景気減速懸念などから先行き不透明感が強まりました。

連結決算概況

このような経営環境のなかで、当社の連結売上高は、2兆1,738億円(前年同期比12%減少)となりました。営業利益は、昨年度実施した事業構造改革による固定費削減効果や原価低減の

進などにより267億円(前年同期比213億円増加)、中間純利益は10億円(前年同期比309億円増加)と黒字を確保しました。

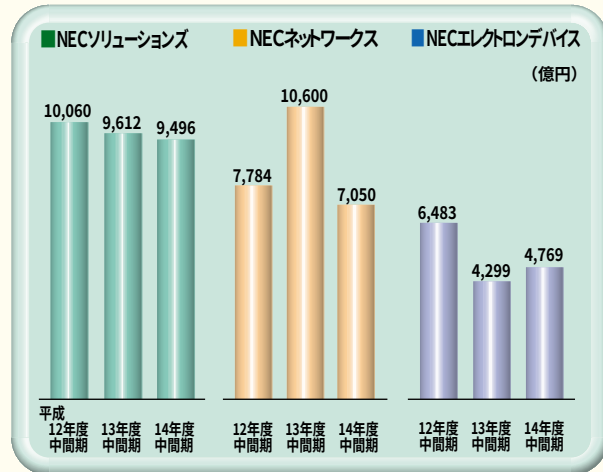
オペレーティング・セグメント別の業績では、NECソリューションズの売上高は前年同期とほぼ同程度の9,496億円、営業利益は、前年同期比59%増加の299億円となりました。国内外のパソコン事業が低迷したものの、SI(システム・インテグレーション)サービス事業が堅調に推移しました。

NECネットワークスの売上高は、前年同期比で33%減少の7,050億円となりました。世界的な通信機器市場の低迷を受けてネットワークインフラ機器の売上高が減少したことや国内携帯電話機市場の減速の影響を受けました。しかし、営業利益は、昨年度に実施した事業構造改革による固定費削減効果などにより、121億円の黒字を確保しました。

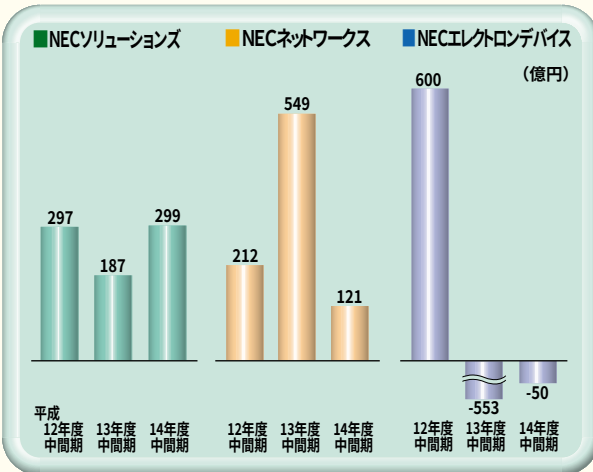
NECエレクトロニクスデバイスの売上高は、前年同期比で11%増加の4,769億円となりました。これは半導体の売上げが緩やかながらも回復したことや、カラーPDP(プラズマ・ディスプレイ・パネル)市場が急速に立ち上がったこと、そして電子部品の事業統合によりNECトーキンが新たに連結対象となったことなどによるものです。一方、営業損益は50億円の損失となりましたが、昨年度に実行した事業構造改革による固定費削減の効果などにより、前年同期比502億円の大幅な改善を実現しました。

なお、中間配当につきましては、連結業績は回復傾向にあるものの、単独業績は未だ黒字に至らなかったこと、および今後の不透明な事業環境に鑑み、大変遺憾ながら見送らせていただきました。

●連結オペレーティング・セグメント別売上高



●連結オペレーティング・セグメント別営業損益



NECグループの事業再編

当社は、過去3年間にわたり企業価値の最大化を目指して、コーポレート・ガバナンス（企業統治）の強化、社内カンパニー制の導入、成長分野への経営資源の集中、課題事業の再編などの構造改革に取り組んでまいりました。しかしながら、この間、当社を取り巻く事業環境は、ITバブルの崩壊、中国企業やEMS（電子機器製造受託サービス）会社の台頭によるコスト競争の激化など急速に変化しており、当社としましても、さらなる競争力強化に向けた経営のスピードアップを実現すべく経営改革を次なる段階へ進化させることを決断しました。すなわち、当社の事業領域をコンピュータとネットワークを含めたトータル・ソリューションである「IT・ネットワーク統合ソリューション」と高度化するシステムニーズを実現する「半導体ソリューション」の2つに明確に分け、それぞれの事業特性の違いに応じた戦略を展開していくこととしました。

半導体事業の分社化と分社後の当社戦略

半導体事業の分社化

事業再編の具体的な内容としては、システムLSIを中心とする半導体事業を当社から分社し、本年11月1日に新会社（NECエレクトロニクス）を設立しました。新会社は、発足当初は当社が100%の株式を保有しますが、できるだけ早い時期に株式公開を目指します。これにより今後、成長の期待される高付加価値システムLSI事業に経営資源を集中するとともに、資本市場へ直

接アクセスすることによって変動性の高い半導体の事業特性に適した資金調達の実施と強固な財務体質構築を実現し、グローバルな事業展開をはかります。一方、ディスプレイ事業など新会社に移管しない事業についても、積極的に第三者出資などを活用し事業拡大や採算性の改善に取り組んでいきます。

半導体事業分社後の当社戦略

半導体事業分社後の当社を構成するNECソリューションズおよびNECネットワークスの事業領域においては、インターネットが社会に浸透するなかで、とりわけ、ダウン（停止）することが許されない信頼性の高い大規模なシステム（これを当社では、「オープン・ミッション・クリティカル・システム」と呼んでおります。）への需要が急速に拡大しています。当社はこれまで基幹通信網など信頼性の高いネットワークや大規模な情報処理システムの構築などで多くの実績をもちノウハウも豊富であることから、こうしたコンピュータとネットワークが融合したIT・ネットワーク統合ソリューション領域で当社の強みを大いに発揮できると考えており、今後、2つの社内カンパニー間の協調関係を一層強化するとともに経営資源を集中することにより競争力の向上をはかっていきます。

当社はこのような事業戦略を着実に実行することにより、NECグループの業績回復に向け全力で取り組んでまいります。株主のみなさまには、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。